

製品名: Unc18-1 (リン酸化Ser313) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05606**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	STXBP1
別名	STXBP1; UNC18A; Syntaxin-binding protein 1; MUNC18-1; N-Sec1; Protein unc-18 homolog 1; Unc18-1; Protein unc-18 homolog A; Unc-18A; p67
遺伝子 ID	6812.0
SwissProt ID	P61764
免疫原	抗血清は、ヒト MUNC-18a の Ser313 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 279-328

背景

この遺伝子はシンタキシン結合タンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、膜貫通型接着タンパク質受容体であるシンタキシンの調節を介して神経伝達物質の放出に関与していると考えられます。この遺伝子の変異は、乳児てんかん性脳症 4 型 (EIEE4) と関連付けられています。選択的スプライシングによる転写バリエーションも報告されています。[RefSeq 提供、2010 年 2 月]、疾患: STXBP1 遺伝子の欠陥は、早期乳児てんかん性脳症 4 型 (EIEE4) [MIM:612164]の原因です。罹患した患者は、新生児期または乳児期の発作発症、脳波における抑制バーストパターン、重度の知的障害、および MRI による髄鞘形成不全の所見を呈します。、機能: おそらく GTP 結合タンパク質との相互作用を介して、シナプス小胞のドッキングおよび融合の調節に関与していると考えられます。神経伝達に必須であり、シナプス小胞融合機構の構成要素であるシンタキシンとおそらく 1:1 の比率で結合する。シンタキシン 1、2、3 と相互作用するが、シンタキシン 4 とは相互作用しない。細胞内融合反応の特異性を決定する役割を果たす可能性がある。、類似性: STXBP/unc-18/SEC1 ファミリーに属する。、サブユニット: SYTL4 および STX1A に結合する。、組織特異性: 脳および脊髄。軸索に多く含まれる。、

研究分野

神経科学

画像データ

